## テーマ：自然（秋）

５歳児クラス　１６名

**活動　（①自然と生き物と命）**
**事前学習、バス遠足～多摩動物公園～**

さまざまな動物との出会いを通して、命の大切さを知る。

| |
|---|
| 準備したもの<br>① 下見と SNS を活用して情報収集、インドサイの放飼練習。絶滅危惧種について等、動物に関する掲示物<br>② 事前学習：動物調べ（導入　動物クイズ）、図鑑や本、多摩動物公園公式サイトのコンテンツ（鳴き声図鑑など）を活用 |

**〇活動内容**

さまざまな動物との出会いを通して、動物への興味関心を深め、命の大切さを知る。

**〇保育者の問いかけやアプロー**

事前学習として動物について調べる時間を設ける。子どもたちが興味関心、探求心をもって事前学習に取り組めるように、子どもたちが好きなクイズ形式（鳴き声クイズ、動物当てクイズ）で導入を行う。鳴き声クイズでは、あえて馴染みのないものにも触れたり、動物たちも挨拶や怒り、喜びなどを声でコミュニケーションをとっていることを伝え、実際に鳴き声の聞き比べを行ったりし、動物に興味関心をもてるようにした。また、遠足に行く時期にちょうどインドサイの赤ちゃんを放飼練習をしていることを SNS で知ったので、命の大切さについて考えるきっかけになるといいなと考え、他にもさまざまな動物の子どもの姿も紹介した。

遠足当日は、ただ動物を見るだけではなく、園内にある掲示物や展示にも目を向け、子どもたちが興味をもてるような声掛けや関わりすることで、動物への関心が広がるように心掛けた。

**〇子どもの様子**

事前学習では、予想外の鳴き声に面白さを感じたり、動物が声を使ってコミュニケーションをとっていることに驚いたりする姿が見られた。「今から動物園に行って鳴き声を聞きたい」と動物園への期待感が高まると同時に動物への興味関心も高まったようだった。また、動物の子どもの時の姿に「可愛すぎる、お家で飼いたい」と愛着を感じる姿も見られた。

遠足では、動物園内にあった掲示物にも興味をもち、絶滅危惧種に指定されている動物がいること、動物たちの生息地の減少などが原因で数が減少していることを知ると、胸を痛めている様子だった。動物たちのために何ができるかな？と自分たちにできることを考えようとする姿も見られた。

赤ちゃんのサイ
可愛い！

チンパンジーが絶滅危惧種なんだって！

## 振り返り

後日、子どもたちと動物園の振り返りを通した。放飼練習していたインドサイやスイギュウの赤ちゃんのように新しく生まれる命がある反面、絶滅危惧種に指定され、失われてしまう命があることについて知り、子どもたちと動物たちのために自分たちにできることについて意見を出し合い、命の大切さについて考えていけるといいように思う。